

問1 桓武天皇が、それまでの都であった平城京や長岡京を離れ、新たに平安京を築いた歴史的な背景や理由として、最も適切なものはどれか。

(2018年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 藤原氏による摂関政治を強化し、貴族中心の政治を確立するため。 | 2. 東日本における地震や飢饉を避け、より安全な南の土地へ拠点を移すため。 | 3. 奈良の仏教勢力の政治介入を避け、天皇中心の律令政治を立て直すため。 | 4. 遣唐使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を全国に広めるため。 |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|

問2 11世紀後半から12世紀後半にかけて、現在の岩手県にある平泉を拠点とし、独自の行政と豊かな文化を築いて東北地方を広く支配した勢力の名称として正しいものを選びなさい。

(2024年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|-----------|----------|
| 1. 奥州藤原氏 | 2. 伊達氏 | 3. 多賀城の国司 | 4. 鎌倉北条氏 |
|----------|--------|-----------|----------|

問3 平安時代中期、摂政・関白として権勢を振るった藤原頼通は、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。池の中央に配された阿弥陀堂が、翼を広げた鳥のような優美な形状をしているこの建築は、当時の人々のどのような願いを現世に表現しようとしたものですか。

(2023年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|--|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 禅宗の教えに基づき、座禅などの厳しい修行によって悟りを開くため | 2. 大陸との貿易による利益を背景に、最新の建築様式を貴族たちに誇示するため | 3. 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため | 4. 武士の勢力に対抗するため、将軍としての政治的な権威を象徴するため |
|------------------------------------|--|----------------------------------|-------------------------------------|

問4 歴史学習のテーマとして「国風文化」を扱う際、その代表例として「古今和歌集」が挙げられます。この歌集が「勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）」と呼ばれる理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 仏教の教えを広めるために、僧侶たちが和歌の形式を借りて記したため | 2. 中国から伝わった漢詩を、日本風の和歌に翻訳してまとめたため | 3. 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため | 4. 各地の有力な貴族が、自分たちの優れた和歌を自費で出版したため |
|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|

問5 「この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも 無しと思えば」という歌について、この歌を詠んだ藤原道長が、自分の権力を「欠けることのない満月」に例えることができた理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2020年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. 武士の力を背景に、対立する貴族をすべて追放して朝廷の役職を独占したから。 | 2. 仏教を保護し、平等院鳳凰堂を建立して民衆から圧倒的な支持を得たから。 | 3. 遣唐使を廃止したことで大陸の影響を排除し、独自の日本文化を完成させたから。 | 4. 自身の娘を次々と天皇の后にし、天皇の外祖父（母方の祖父）として絶対的な権力を手にしたから。 |
|---|---------------------------------------|--|--|

問6 平安時代初期、桓武天皇のもとで「軍事」と「造作」という二つの大きな事業を継続するかどうかの議論が行われました。「造作」が平安京の造営を指すのに対し、「軍事」とは、東北地方で朝廷の支配に抵抗を続けていた人々を平定するための戦いを指します。この、東北地方で朝廷に抵抗した人々の呼称として正しいものはどれですか。

(2017年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 和人 | 2. 蝦夷 | 3. 御家人 | 4. 防人 |
|-------|-------|--------|-------|

問7 平安時代末期、平清盛は武士として初めて太政大臣に就任し、政治の実権を握りました。この際、清盛が自身の娘である徳子を高倉天皇の后（きさき）とすることで築き上げた、天皇との政治的な血縁関係を何と呼びますか。

(2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------|---------------|------------------------|-------------|
| 1. 守護・地頭（しゅご・じとう） | 2. 外戚（がいせき）関係 | 3. 寄進地系荘園（きしんちけいしやうえん） | 4. 院政（いんせい） |
|-------------------|---------------|------------------------|-------------|

問8 10世紀の平安時代中期、地方政治の混乱に乗じて、瀬戸内海の高倉天皇の后（きさき）とすることで築き上げた、天皇との政治的な血縁関係を何と呼びますか。

(2023年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|-----------|---------|
| 1. 平将門 | 2. 藤原純友 | 3. 坂上田村麻呂 | 4. 藤原道長 |
|--------|---------|-----------|---------|

問9 国風文化の時期には、漢字を簡略化して作られた「かな文字」が普及しました。これによって、これまで漢字を主に使用していた男性だけでなく、貴族の女性らによる文学作品が多く誕生しましたが、この時期に清少納言によって執筆された、四季の情景などを綴った随筆を選んでください。

(2023年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 古事記 | 2. 枕草子 | 3. 日本書紀 | 4. 源氏物語 |
|--------|--------|---------|---------|

問10 平安時代、藤原氏は天皇の補佐役として政治の実権を握りました。このうち、天皇が成人した後にその事務を助け、政務を補佐する役職を何と呼びますか。

(2020年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 太政大臣 | 2. 内覧 | 3. 摂政 | 4. 関白 |
|---------|-------|-------|-------|

問11 平氏政権が、かつての藤原氏が行った摂関政治と同様の手法を用いて権力を強めた具体的な方法について、最も適切な説明を選びなさい。

(2021年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇のきさき（后）とし、その間に生まれた子を天皇に立てることで、自らが外戚となって政治を動かした。 | 2. 太政大臣として朝廷の最高職に就くだけでなく、西日本各地に守護や地頭を派遣して地方の年貢を直接管理した。 | 3. 院政を行っていた上皇を幽閉し、天皇の教育係となることで、次期天皇の指名権を独占した。 | 4. 独自の軍役規定を設け、全国の武士に忠誠を誓わせることで、軍事力に基づいた専制政治を確立した。 |
|---|--|---|---|

問12 平安時代末期の年表において、平氏が権力を握っていた時期に行われた、中国の王朝との交流の名称と主導した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。

(2026年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 日元貿易 — 平氏一門 | 2. 日唐貿易 — 平清盛 | 3. 日宋貿易 — 平将門 | 4. 日宋貿易 — 平清盛 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|

問13 平安時代初期に最澄や空海が伝えた新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、ある共通した特徴を持っていました。その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2019年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 文字の読めない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説くことを重視した。 | 2. 海外との貿易を盛んに行い、寺院の資金を蓄えることを重視した。 | 3. 都の中心部に巨大な寺院を築き、天皇の政治を直接補佐することを重視した。 | 4. 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。 |
|---|-----------------------------------|--|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 奈良の仏教勢力の政治介入を避け、天皇中心の律令政治を立て直すため。	奈良時代末期、僧の道鏡が皇位をうかがうなど、仏教勢力が政治に深く関与するようになっていました。桓武天皇は、こうした古い政治慣習や勢力の影響を断ち切り、律令の理想に基づいた政治を再生させるために、山背国（後の山城国）への遷都を強行しました。
問2	答え 1 奥州藤原氏	前九年の役・後三年の役という戦乱を経て、藤原清衡が平泉に拠点を築いたことが始まりです。清衡、基衡、秀衡の三代にわたり、京都の文化を取り入れつつも、独自の北方貿易や産金背景を持つ強力な勢力として約100年間の繁栄を誇りました。
問3	答え 3 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法思想」が広まり、人々の間で死後に救済を求める浄土信仰が流行しました。藤原頼通は、この信仰に基づいて阿弥陀如来を本尊とする平等院鳳凰堂を建立しました。庭園の池の中に建てられたその姿は、阿弥陀仏が住む理想郷である極楽浄土を、地上に視覚的に再現することを目指したものです。選択肢にある禅宗は鎌倉時代に広まったものであり、貿易利益や将軍の権威といった要素もこの建築の本来の目的とは異なります。
問4	答え 3 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため	「勅撰」の「勅」は天皇の命令を意味します。古今和歌集は醍醐天皇の命により、紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑の4人が編纂者となってまとめられました。それまでの万葉集が私的な性格を持つのにに対し、国家的な文化事業として位置づけられている点が大きな特徴です。
問5	答え 4 自身の娘を次々と天皇の后にし、天皇の外祖父（母方の祖父）として絶対的な権力を手にしたから。	この歌は、道長の3人の娘が同時に皇后・皇太后・太皇太后という最高の地位に就いた祝宴の席で詠まれました。道長は4人の娘を天皇に嫁がせており、その子どもが次々と天皇になったことで、外戚としての地位を盤石なものにしました。「望月の歌」は、自らの権勢が絶頂に達し、何の不足もない状態であることを誇ったものです。
問6	答え 2 蝦夷	桓武天皇の時代、朝廷の支配に従わない東北地方の人々は「蝦夷（えみし）」と呼ばれていました。彼らを平定するための「軍事」と、平安京を造る「造作」は、どちらも莫大な費用と人手を要したため、国家財政や民衆に大きな負担をかけました。最終的に「徳政論争」と呼ばれる議論を経て、これらの事業は中止されることとなりました。
問7	答え 2 外戚（がいせき）関係	平清盛は、かつて藤原道長らが行った摂関政治の手法を取り入れました。娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子（安德天皇）を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚である「外戚」として朝廷内での発言力を高め、政治の実権を掌握しました。これは武力による支配だけでなく、既存の公家社会の仕組みを利用した点が特徴です。
問8	答え 2 藤原純友	10世紀前半、地方政治の緩みから各地で武士が台頭し始めました。もともと伊予国（現在の愛媛県）の役人であった藤原純友は、瀬戸内海の高松を組織して朝廷に反旗を翻しました。同時期に関東で発生した平将門の乱とともに「承平・天慶の乱」と総称され、これらを鎮圧する過程で武士の力が中央に認識されるようになりました。
問9	答え 2 枕草子	平仮名の普及は、日本人の繊細な感情を表現することを可能にしました。一条天皇の中宮定子に仕えた清少納言は、鋭い観察眼で宮廷生活や自然の美しさを捉え、「枕草子」を著しました。同じ時期に紫式部が著した長編物語である「源氏物語」と並び、平安文学の最高峰とされています。
問10	答え 4 関白	藤原氏は天皇が幼少のときは「摂政」として政務を代行し、天皇が成人した後は「関白」として引き続き政治を補佐する体制を築きました。このように摂政や関白の職を独占して行われた政治を摂関政治と呼び、藤原道長やその子の頼通の時期に全盛期を迎えました。
問11	答え 1 自分の娘を天皇のきさき（后）とし、その間に生まれた子を天皇に立てることで、自らが外戚となって政治を動かした。	平清盛は、武士として初めて太政大臣という高い位に就くだけでなく、娘の徳子を高倉天皇のきさき（后）として入内させました。そして、その間に生まれた安德天皇を幼くして即位させることで、自らが天皇の母方の祖父である「外戚」となり、政治的な主導権を握りました。これは平安時代に藤原氏が権力を維持するために用いた「摂関政治」と同じ手法です。
問12	答え 4 日宋貿易 ― 平清盛	平安時代末期に太政大臣として政権を掌握した平清盛は、瀬戸内海の航路を整備し、中国の宋王朝との間で日宋貿易を本格化させました。平将門は平安時代中期に関東で反乱を起こした人物であり、貿易を主導した事実はありません。また、当時の中国の王朝は宋（北宋・南宋）であり、唐や元とは時期が重なりません。
問13	答え 4 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。	奈良時代には僧が政治に干渉する弊害が見られたため、平安時代初期の新しい仏教は、比叡山や高野山といった山の中に寺院を構え、世俗を離れて修行に専念するスタイルをとりました。これを山岳仏教と呼びます。